

研究・調査報告書

報告書番号	担当
250	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
Postpartum and alcohol-related factors associated with the relapse of risky drinking. 出産後そして危険な飲酒行動に関わるアルコール関係因子	
執筆者	
Jagodzinski T, Fleming MF.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
J Stud Alcohol Drugs. 2007 Nov;68(6):879-85.	
キーワード	
出産後、頻回飲酒、危険な飲酒行動	
要 旨	
<p>目的：</p> <p>(1) 妊娠前に頻回飲酒だった女性の出産後の飲酒様式を記述する。</p> <p>(2) そのような女性のうち“危険な”飲酒行動様式を同定する。</p> <p>方法：</p> <p>出産後の診察時に施行した自記式アンケート、およびその後行われた一対一の面接によってえられた381人の女性からの情報を用いた。これらの女性は、ウィスコンシン州の35の産婦人科より、妊娠前に「頻回飲酒」と報告した者を集めた。</p> <p>過去28日に一機会に4ドリンク(1ドリンクはアルコール換算12~13g)以上(大量機会飲酒)を少なくとも週2回以上、あるいは週平均7ドリンク以上を“危険な”飲酒行動と定義した。多変量解析を用いて出産後の危険な飲酒行動との相関を同定した。</p> <p>結果：</p> <p>全体で37.8%(144人)の女性が出産後の危険な飲酒を報告した。18%は大量機会飲酒のみ、5%が頻回飲酒のみ、15%がこの両方の行動を報告した。出産後の危険な飲酒行動者はそれ以外の女性に比べて、次のような傾向が認められた。パートナーが危険な飲酒を行う(オッズ比=2.6 [95%信頼区間: 1.5-4.5])、非雇用者である(オッズ比=3.0 [1.2-7.7])、妊娠後に喫煙している(オッズ比=1.9 [1.0-3.5])、妊娠に気付いた後も飲酒する(オッズ比=4.8 [2.2-10.6])。母乳を与えている女性は危険な飲酒行動をする傾向が低かった(オッズ比=0.3 [0.2-0.5])。</p> <p>結論：</p> <p>出産後の期間、飲酒スクリーニングのためには、次のような女性を焦点をおく必要があると考えられた：喫煙者で以前に頻回飲酒者だった者、非雇用者、パートナーが危険な飲酒行動者、母乳栄養でない。</p>	